



第 42 号

発行日：令和4年3月15日
発行：一中地区市民委員会
編集：文化広報部会
事務局：一中地区公民館内
TEL：029-821-0104
世帯数：9,363戸
人口：19,095人
(令和4年2月現在)



コロナ禍での二年目の活動も、年度末が近づき大詰めとなっているところですが、年が明けた昨今オミクロン株が大流行していることから、残念ながら二月五日の閉講式を開催することが困難になってしまいました。昨年度に引き続き、今年度もコロナ感染症の影響で、活動計画の大幅な変更もせざるを得ませんでした。

コロナにも負けず 頑張るチャレンジクラブ

青少年育成部長 根本 和夫



ここでは、そのうち後半に行われた二つの活動について、活動内容を『チャレンジだより』として発行されている担当の木村先生の手稿をもとに、その様子を報告させていただきます。

十月九日、霞ヶ浦の環境を学習するため、「ホワイトアイリス号」に生徒十五名と、同行者を含め二十二名が乗船。当日は風がかなり強かったため、予定していた霞ヶ浦の水質検査と透明度検査について、残念ながら安全上の配慮から、船長の判断で中止となってしまいました。

それらに代わるものとして、船内で、調査に使用する器具やその使用

方法、過去の水質検査のデータなどをビデオをとおして学びました。ビデオでは他にもプランクトンなど、いろいろな種類の水性生物が映し出され、目を丸くして興味深く傾くクラブ員たちでした。また、自由時間には風による船の揺れを楽しむかのように、はしゃぎながら一階と二階のデッキを行き来していました。

十二月十八日、かつては、子供達の元気な声が響きわたっていた旧八郷にある朝日小学校へ。廃校後に体験型観光施設として生まれ変わった朝日里山学校で活動を行いました。

木造の昔懐かしい校舎に到着したとき、クラブ員たちは不思議な感覚に包まれたことでしょう。どこを見てもレトロな景色に、過ぎゆく時間



がゆっくりと流れていました。

まずはピザづくり。生地を丸め、発酵のために教室の窓際に。暖かな日差しを受け、準備した生地が徐々に膨らんでいくのがわかりました。生地を円形に伸ばしたあと、野菜や果物をのせ、高温のピザ窯で焼き上げると、美味しそうな熱々のピザに誰もが大喜び、美味しいという声があちこちから上がりました。

食べ終わった後、五年生の子生徒が皆の使った紙皿の後片付けを始めると、それを見ていた何人かが手伝う光景が見受けられ、自ら進んで行動する姿を素晴らしいと思うとともに、クラブ員たちの成長を感じられました。

しばらくして、ミカン狩りへ向かいました。急な坂道を登りつめた先には、たわなに実ったミカンと、思わず時間を忘れるほどの絶景が生徒達を待ち受けていました。青空のもと、思い思いにミカン狩りの楽しいひとときを満喫し、帰路につきました。

むすびに、活動内容や期日の変更にも関わらず、市民委員としてお手伝いをいただいた父母の皆様、この場をお借りし感謝を申し上げます。

みんなの広場

『あいさつ』には

『愛』がある

虫掛町地区長

國枝 俊彦

現在も小中学校では「あいさつ運動」に力を入れている事と思います。「あいさつ」を学校で指導するののか」という疑問はありますが。

自分が教員をしていた頃も、学校で「あいさつ運動」に力を入れていました。

私は、他の方からの『受け売り』ではありましたが、「あいさつ」には「愛」があるということを知り、子ども達に伝えられたらという思いで、「あいさつ」運動に取り組んできました。

「あいさつ」に「愛」があるとは。「あいさつ」をする人は、相手に対して「親しみ」「愛情」をもっているということ。朝「おはよう」という「あいさつ」は、『今日もあなたに会えてよかった』という「愛情」。

帰りに「さようなら」という「あいさつ」は、『明日も元気に会いましょう』という「愛情」があるからこそ出る言葉であるということ。「あい

さつ」をされる人は、「あいさつ」をする人から「愛されている」証拠であるから、「あいさつ」をされたら、元氣よく「あいさつ」を返ししょう。また、自分の『愛情表現』として、「自分から進んで『あいさつ』をしましょう」と子ども達に呼びかけて実践をしてきました。

今、現職を離れて、「一般人」として生活をしている中で、家の裏を通っている「りんりん・ロード」で散歩をしていますと、同じように散歩やウォーキングをしている人となれ違います。その時には、自分から進んで「あいさつ」をしています。微笑んで「挨拶を返してくれる方。」「怪訝そうな顔」で見返す方、など様々です。

夕方の散歩では、学校帰りの男子高校生が、後ろから追い越す際に、毎回「こんにちは」とあいさつをしてくれます。「今時珍しい」と思いながら、それが毎日のように続く。「気を付けて」と一言加えるような「親しみ」を感じる「仲」になりました。

これこそ、「あいさつ」には「愛」があるという証明ではないかと私は思います。

大人・子ども関係なく、誰もが自



然に「あいさつ」ができる環境にしたいと思っています。「りんりん・ロード」が、『あいさつロード』になってくれることを願ってやみません。私たち大人が進んで「あいさつ」をすることを、心がけていければと思います。

部活動で学んだこと

桜町四丁目高三 木村 菜々

昨年八月に、全国の高校生ダンス部を応援するために行われた、日テレ「スッカリ」主催の「ひとつになろう！ ダンスONEプロジェクト21」の出演を最後に、三年間活動してきたチアダンス部を引退しました。

私が入部したときは、三年生十三人、二年生十四人、一年生十八人でした。三年生の先輩方とは、四月から八月までの、たった四ヶ月程度しか一緒に活動出来ませんでした。本当に短い間でしたが、チアの基礎的な知識や技術、作品のつくり方など沢山のことを学ぶことが出来ました。

二年生になって、作品づくりに携わることが多くなり、大変なこともありましたが、一年生の時とは別の楽しさを感じるものが出来ました。

私の所属する高校のチアダンス部では、部員で協力しながら作品づくりをしていました。全体で五十人近く部員がいたため、衝突も多く、その状況をとて

不安に思う時期もありましたが、曲選びや編集、振付け、衣装などを自分たちで一から考え、一つの作品を作り上げることにもやりがいを感じました。自分たちだけで作り上げるからこそ、一人ひとりが責任を持ち、しっかりと自分の意見を伝えなければいけないと気付くことができたと同時に、周りに頼りすぎず自分で考え行動することの大切さも学ぶことが出来ました。

そして、三年生になり最後の大きな大会を迎えました。新型コロナウイルスの影響でステージに立てる人数が限られていましたが、「最後に



良い結果を残したい」と思っていた私達は、学年を問わずオーディションを行いメンバーを決めました。

その結果、三年生が全員揃ってステージに立つことは出来ませんでした。が、準優勝という形でチアダンス部の活動を、多くの方に認めてもらえたことを実感しました。高校最後に準優勝という良い結果を残すことができて本当に嬉しかったです。

多くの人がいる中で自分の意見を伝えるのは、とても難しく大変でしたが、自分から行動しなければ、何かに挑戦することも、誰かに信頼されることもないと、改めて実感することが出来ました。

チアダンス部で学んだことは、これから忘れることなく、大切にしていきたいと思っています。

猫だまり

虫掛町 柴沼 恭子

陽だまりのカーテンの先に

猫だまり

家猫さそう野良たちの声

昨年公園で保護した子猫、野良が産んで保護した子猫が我が家の廊下でひなたぼっこをしていると、母野



良をはじめ、他の野良ちゃん達が集まって来るようになりました。

陽だまりならぬ猫だまり。網戸越しに共鳴しあう猫たち。ソーシャルディスタンスを取りながら。

母野良は保護して避妊手術をして地域猫にしました。しかしながら、野良猫の多いこと。これから先も増えていってしまいます。

野良が子猫を産んだのを見つけた時、何処に連絡してどうしたら良いのでしょうか。

旧桜川に浴つて

蓮河原新町 山本 敦子

旧桜川は蓮河原新町から蓮河原町を流れている小さな川です。そんな川ですが、釣りの雑誌に雷魚が釣れる川として載っているらしく、県外からも釣り人がやってきます。春になると亀の親子がずらりと甲羅干しをする様子も見ることが出来ます。

昔は桜川の支流だったのかもしれませんが、田植えや稲刈りの時期には本流の桜川から水を引いたり出したり、用水路として大きな役割を果たしています。



日本経済新聞にも載った桜と菜の花のサイクリングロード蓮河原



蓮河原新町は土浦駅東口から歩いて一〇分、蓮河原町の奥まで歩いても二〇分くらいの位置です。蓮河原と言っても蓮田だけでなく、水田も多く、金魚の養魚場もあります。駅から遠くない割に、近隣の港町、滝田、小松地区と比較して世帯数は少なく、蓮河原新町が約三八〇、蓮河原町は七〇程度です。

農業の後継者はどこでも減少していますが、蓮河原地区も水田の耕作放棄地が目立ち始め、だんだん葦原になってきました。そんな葦原はキジやテンの住処となり、散歩していると「ケーン、ケーン」とキジの鳴き声が聞こえてきます。

そんなに遠くない将来、高齢化に伴い更に蓮田や水田が減少し、「蓮河原」というよりキジとテンの子育て楽園「葦野原」に変わっていくことが懸念されます。

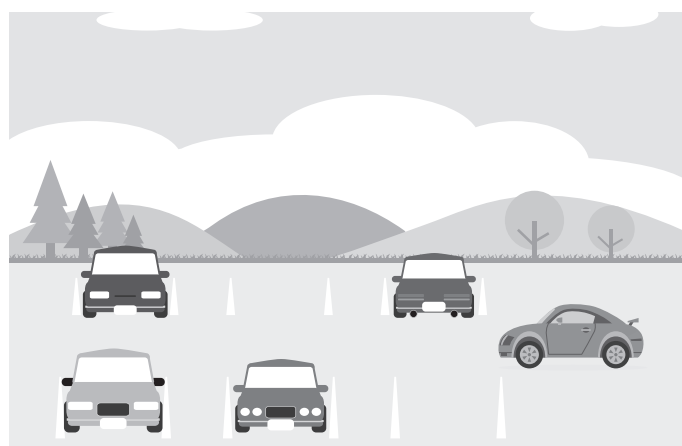
駐車場での駐車運転スタイル

穴塚 佐藤 春治

駐車場では駐車枠に収まっているものの、車両が斜めのままに止まっている車を見かけることがあります。斜めの状態で駐車していると、乗り降りしにくいだけでなく、ドアを開けたときに隣の車などにぶつかりぶつけられたりして危険も高まります。あまり気にしない人もいるようですが、駐車場でトラブルを回避するためにも駐車枠には真つ直ぐに止めるように心がけましょう。

では、真つ直ぐに駐車したいのに斜めになってしまうのは何故でしょうか。多くの場合、原因は「ハンドルを切りながらバックしている」ことにあります。左右にハンドルを動かしているうちに自分の車が真つ直ぐなのか斜めなのか分からなくなってしまう。真つ直ぐに駐車するためには、いったん停止し、自分の車の状態を確認することが大切です。

たとえ斜めになっても、停車した状態で白線を目印にすれば、修正も簡単にできます。また、ハンドルを切ったまましていると、出るとき



におもわぬ方向に車が動いてしまい危険です。駐車後は必ずハンドルを真つ直ぐにしておきましょう。

それでは具体的に体験してみましょう。

①いったん止まってハンドルを真つ直ぐに

左右にハンドルを切りながら調整すると自車の角度を見失いやすいので、後輪が駐車枠に差し掛かるあたりで、いったん停止しましょう。このとき、ハンドルも真つ直ぐに戻して一呼吸。その状態でほんの少しバックすると車の角度が把握できます。

②白線が車体と平行になるように下がる

下がりながらハンドルを真っ直ぐに戻していくと調整しやすいです。目視とドアミラーで白線を確認しながらバックします。

③正面の目標物とハンドルのセンターが真っ直ぐか確認

前段階でほとんど真っ直ぐに収まっているはずですが、念のためもう一度停止。真っ直ぐにしたハンドルのセンターが、正面の目標物に対して直線上にあるかを確認して、改めてバックします。白線が見えなければドアミラーを下向きの状態に調整し、車体と平行か確認しましょう。慣れてきたら左右のスペースも均等になるように調整しましょう。呉々も安全運転に心がけましょう。

古布を楽しもう

同好会だより
松翠会 下村 紀子

松翠会は一中地区公民館で長年活動しており、土浦の雛まつりには第二回から参加して現在に至っております。

ちりめん細工を中心にタペスト



リーやバックなどいろいろな作品を作っています。一針一針ていねいに縫っていますので、時間はかかりますが、完成した時の喜びは格別です。活動は第一・二火曜日の十時～十五時です。

ふるって御参加ください。

囲碁同好会「亀ノ碁会」

八島 茂夫

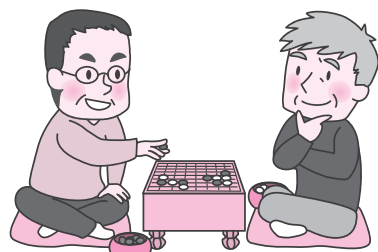
「亀ノ碁会」が発足して二十八年になります。初心者向けの囲碁講座修了を機会に発足した関係で、棋力上達より、高齢囲碁同好者のサロンの存在を重視しております。最近まで一中地区公民館の和室で毎日曜日の午後細々と活動してきました。会員数が二十五人に増え、また会員の高齢化に伴い椅子席という希望が高まり、令和二年に三階の会議室に移り、椅子席で対局できるようになりました。

ここ二年間、新型コロナウイルス感染症蔓延により、公民館の休館、会議室への入室の定員削減、利用時間の短縮、コロナ感染防止策励行など、活動が窮屈になってきましたが、少人数が幸いし、週一回の集まりが維

持されており、当日には満席に近い盛況となっています。

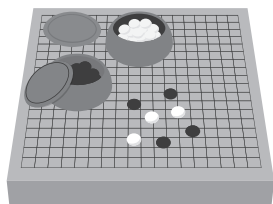
会員のほとんどは高齢者です。居住地はさすがに地元の一中地区が多いのですが、二中地区、四中地区、六中地区、新治地区、更につくば市、かすみがうら市からも熱心に通ってくる会員もいます。亀ノ碁会には、地区外の人々をも引きつける魅力があるということでしょうか。こじんまりとした和やかな雰囲気、毎日曜の頻繁な開催、月額百円の安価な会費が好まれているものと思われま

す。会員数に比べ、上は八段から下は十級までと幅広く入り混じっているのが、家庭的雰囲気を出す要因となっているようです。年四回の大会は、棋力に応じて、上級・中堅・初心者とクラス分けし、各クラス十人以下の少人数で対局し、成績に応



じてハンディを調整しています。こまめなハンディ調整で、棋力に楽しく対局でき、また実力変化も分かりやすいのも励みになっているようです。成績低迷が続くと、本人の希望により、ハンディを下げることもできるのも亀ノ碁会独特の方式です。歳を取って知力が衰えたとしても、永く囲碁を続けられる仕組みなのではないでしょうか。

このように、亀ノ碁会が高齢者の「居場所」として機能しているように思います。後期高齢者ともなると、体力の衰えもあつて家に籠もりがちになり、教育（今日行く場所がある）・教養（今日用事がある）問題に悩まされます。囲碁を多少たしなむ高齢者には、公民館での囲碁同好会は、外出の大義名分としてうつつけの場所なのです。日曜日になると、いそいそと出かけたくなる場所を持っている人は、なんと幸せなことでしょうか。



【お詫び】

前号四一号に掲載しました内容に誤りがありました。ここにお詫びして訂正いたします。

・二頁「環境部事業報告」

誤 一中地区市民委員会
環境部長 富田 祐
正 一中地区市民委員会
環境部長 富田 祐

・七頁「まごころ」を届け ています！」

誤 一中地区公民館
(824-0104)
正 一中地区公民館
(821-0104)



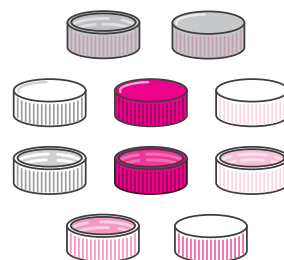
ペットボトルキャップ回収終了のお知らせ

土浦市社会福祉協議会では、世界のこども達にワクチンを届けるという趣旨でペットボトルキャップの回収活動を行ってきましたが、プラスチックの買取り価格の下落などの理由により、十分な効果をあげることが難しくなってきました。

そのため、令和4年3月をもってペットボトルキャップの回収を終了いたします。それに伴い、一中地区公民館でも回収BOXを撤去いたします。

今後、ペットボトルのキャップにつきましては、土浦市が発行しております「資源とごみの出し方」に沿って**プラスチックごみ**として、リサイクルをしていただきますようお願いいたします。

土浦市社会福祉協議会
福祉のまちづくり係
土浦市大和町9-2
ウララ2ビル4F
電話：029-821-5995



公民館は福祉の身近な相談窓口です

こんなことにお困りではないですか？



家族に介護が必要になった。

子育て支援サービスを利用したい。



福祉に関する情報が知りたい。

などなど



地域ケアコーディネーターのお仕事 ～ある日の相談～



この物語はフィクションであり、実在の人物や団体などとは関係ありません

生活の困った!! は
地域ケアコーディネーターに
お任せください

地域ケアコーディネーターは 社会福祉協議会の職員です。

「どこに相談していいかわからない」そんなときに、必要な支援が受けられるよう、福祉の総合相談窓口として適切な機関へ連絡調整をいたします。

年齢を問わず全世代を対象としていますので、要支援者とその方を支える家族も含めて安心した暮らしが送れるよう一緒に考えていきます。

相談は無料です。また、相談に限らず福祉の情報についてご案内もいたしますのでぜひお気軽にご活用ください。

土浦市ふれあいネットワーク

土浦市ではだれもが安心して暮らせるまちづくりを目指してふれあいネットワーク事業を実施しています。

ふれあいネットワークとは様々な困りごとに対し、地域住民・医療・保健・福祉等の関係者が連携して生活の改善を図るために総合的に支援をしていく仕組みです。その相談窓口として地域ケアコーディネーターは各地区公民館に配置されています。

問合せ先

土浦市社会福祉協議会中央支部

担当：川崎

土浦市大手町 13 番 9 号
(土浦市立一中地区公民館内)
TEL 029-821-0104



短歌

風雨に耐えし桜川土手の桜木の洞の深さに樹齢を想う

井上 寛江

雪解けの深山に爽やか福寿草黄が呼び寄する春の魁け

櫻井 雅江

霞ヶ浦の水面に延びる早春の光の道を眩しみて見つ

瀬古澤 和子

筑波嶺は朧ろにあかくふくらみぬ佐保姫渡る時待ちわびて

齋藤 順子

春の日は散りばめられた思い出が缶から飛び出すサクラドロップス

桑田 今日子

編集後記

新型コロナウイルス感染症も昨年末に収束傾向になり良かったと思うもつかの間、今年に入り新たなオミクロン株の急速な感染拡大により、今年も全ての行事等が相次いで中止になるのかと悪い予感を感じてしまします。

しかし、こうしたコロナ禍の中でも東京オリンピックでの各選手達のこれまでにない大活躍や、大リーグでの大谷翔平選手の二刀流での活躍、更に将棋界での藤井聡太棋士の五冠達成など、良い結果も沢山ありました。

全てをネガティブに捉えず少しでもポジティブに思うように心がけたいものです。

さて、今号も皆さまに寄稿を頂きまして、編集委員一同心より感謝申し上げます。

(Y・A)

(本号の編集担当者)

新井 幸男／田中久美子
石川 幸子／岡部 恒文
小野村一博／佐藤 春治
宮口 五郎／山本 敦子
横山 光栄